

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

+++++

+++ CONTENTS +++

- 【1】青銀会理事によるリレーエッセイ：(理事)岩谷邦夫氏
- 【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ
- 【3】編集後記

+++++

【1】リレーエッセイ「今こそ日本人の底力を見せよう」 理事 岩 谷 邦 夫

2009年の冒頭を飾るエッセイを頼まれましたクリングルファーマの岩谷邦夫です。

昨年来の100年に一度といわれる経済危機に関してはマスコミがこぞって暗い話を取り上げていますので私はこういう時にこそ真価を発揮するのが日本人であるという明るい話しをしたいと思います。

日本人とは何ぞや、といった大げさな話はしませんが通算20年近くアジア、欧州、アメリカで過ごした経験から比較文化論的に改めて特徴を書き出すと次のようになるかなと個人的に思っています。

1. 一神教ではない。多神教とは言いませんが違うものを受け入れる素質がある。
2. 農耕民族である。従って集団行動をとりやすい。
3. 手先が器用でありものづくりに向いている。
4. 識字率は世界で長らくトップクラスであり、比較的教育レベルの高い人種集団である。
5. 自然との共生、環境への配慮は本来の日本人の特質であり日本文化の姿である。
6. 概して人や物に対してやさしい。これはある意味自己主張が少ない、独立心に欠ける事にも通ずるとも言えますが。

まだまだ良い面も悪い面も多々ありますが、私がここで強調したかったことは今起こっている経済危機はアメリカ型資本主義の悪い面が行き過ぎた結果であり、それに追従した、或いはせざるを得なかった仕組みにも問題があるということです。そして本来の日本人の素質を改めて考えてみると、もし日本人が国を挙げ自信を持ってこの危機に対処すれば意外に早く脱出できるかもしれないと思うのです。

例えば、恵まれた自然環境の活用ですね。さんさんと降り注ぐ太陽熱を利用した発電装置は本来日本がトップを走ってしかるべき技術だと思いますが結構ドイツなど北国も強いようです。それに国土の7割を占める山林資源。むやみに山を切り開く開発ではなく、自然との共生で心の休まるような長期計画にのっとった開発の仕方があると思います。そして豊かな水の利用です。もともと日本は安全と水はただ、という国でしたがわざわざプラスチックボトルに入れた水を買うようになってしまいました。ここに至るまでの関係企業の努力には頭が下がりますが意味税金を使って行っている水道事業が劣化していることの表れですね。それから農業への回帰です。土をいじる人たちが増えれば自然に祖国を愛するようになるのではないのでしょうか。そうすれば食料自給率39%という恐ろしい数字も少しは改善すると思います。若い元気な人たちが農業や林業に目を向けるような仕組みが必要ですね。更に言えば島国の日本には限りない海洋資源がほとんど手付かずに残っています。日本の優れたロボット技術を駆使すれば海洋資源の活用にも道が開けるのではないのでしょうか。

過去には周りの自然とうまく調和して共生していた本来の日本人に戻るためにどうすれば良いのか考えた末に行き着くのは「教育」それに「政治のリーダーシップ」です。私は決して鎖国主義者ではなくむしろ良い意味でのグローバル化推進者ですが同時にわが国が自立することを切に願っています。国民のレベル以上の政治家は出てこない、と言われていますが今こそ変わらなければ、或いは変えようという強い意志が多くの日本人に必要なときではないのでしょうか。そうです、今のアメリカのように。Change! Yes, we can. です。

▼△▼△

【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ

▼△▼△

■ 公募情報 ■

1.(公募期間:1/15～3/16)

平成21年度「シーズ発掘試験」研究課題の募集について
【独立行政法人科学技術振興機構】

イベント情報

4.（開催：1/27）
「けいはんな 第10回 シーズフォーラム」のご案内
【けいはんな新産業創出・交流センター】

6. (開催:1/30)
「『国際的大学発ベンチャーシンポジウム』日本の大学発ベンチャーの
国際化ーベンチャーキャピタリストの視点から」のご案内
【文部科学省、奈良先端科学技術大学院大学】

8.(開催:2/5)
「地域発技術シーズ発表会」のご案内
【独立行政法人科学技術振興機構】

◆◆◆◆◆ 詳細情報 ◆◆◆◆◆

シーズ発掘試験は、各府省・大学(知的財産本部・地域共同研究センター等)・地方自治体・独立行政法人・TLO等に配置されている各種コーディネータ等が発掘した大学等の研究シーズの実用化を促し、イノベーションの創出に資するとともに、コーディネータ等の活動を支援することを目的としています。

2.(公募期間:1/8～3/12)
「平成21年度 産業技術研究助成事業(若手研究 Grant)」の
公募について
<https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokouboplace.2008-03-12.5428342812/nedokoubo.2008-12-17.8623045293/>
【独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構では、産業技術研究助成事業(若手研究 Grant)の平成21年度公募を下記のとおり行う予定です。本事業は、明日の産業技術を担う技術シーズの発掘・育成と研究人材の育成を目的として、大学・研究機関等の若手研究者(個人又はチーム)が取り組む、優れた研究テーマに対して、直接経費及び間接経費(直接経費の30%相当額)を助成するものです。

■公募期間:平成21年1月8日～平成21年3月12日

■詳しい内容、お申し込み方法はこちらから

<https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokouboplace.2008-03-12.5428342812/nedokoubo.2008-12-17.8623045293/>

■お問い合わせ先

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

研究開発推進部 若手研究 Grant グループ

TEL:044-520-5174

E-mail:sangi-211@nedo.go.jp

3.(募集期間:1/31まで)

「CEBIT2009」出展のご案内

http://www.cebit.de/homepage_e

【CEBIT】

この度、大阪府とJETROが、ドイツで行われる情報・通信技術全般を網羅する世界的な展示会「CEBIT」に出展を行います。

(ご参考)

CEBITホームページ:http://www.cebit.de/homepage_e

CEBITについて:<http://e-words.jp/w/CeBIT.html>

出展の目的は、大阪発ベンチャーの支援(2社出展予定)と大阪府の観光も含めたアピールにあります。大阪大学に関するベンチャー企業の紹介資料を無料にて展示することを検討しております。つきましては、以下の要件を満たす出展希望のベンチャー企業を募っております。

・CEBITの目的に沿う企業であること。

・広く商品を世界的に売っていききたい企業であること。

このような企業がございましたら、以下の資料を1月末日までにお送り下さい。

・商品紹介資料

・商品イメージ

・会社紹介資料

・展示会に求めること(投資、販路拡大、等)

・連絡先:名前、組織名、役職、住所、メールアドレス、電話番号

(国際展示会の関係上、最終資料は、英語でお願いします。本申し込みは、日本語で結構です。)

※なお、出展申し込みをされても、必ずしもご期待に添えない場合もありますので、ご承知下さい。

■日 時:平成21年3月3日～6日

■場 所:ドイツ ハノーバー

■資料送付先・お問い合わせ先:

大阪大学 産学連携推進本部 総合企画部

E-mail:matsuhashi@uic.osaka-u.ac.jp(CC:h-tomioka@uic.osaka-u.ac.jp)

TEL:06-6879-4875 FAX:06-6879-4208

4.(開催:1/27)

「第10回 シーズフォーラム」のご案内

<http://keihanna.biz/business/event/2008/1208-171126.html>

【けいはんな新産業創出・交流センター】

「同志社大学における産官学連携の取り組み状況」「ポリペプチドナノ薄膜の開発とその応用」などのシーズ紹介をするフォーラムが開催されますので、ご案内いたします。

■日 時:平成21年1月27日(火)13:30～17:30

■場 所:関西経済連合会 29 階 会議室 (中之島センタービル)
■参加費:無料
■お申し込み・詳細はこちらをご覧ください。(申込締切:1月20日)
<http://keihanna.biz/business/event/2008/1208-171126.html>
■お問合せ先:
けいはんな新産業創出・交流センター 大阪オフィス(担当:川村)
TEL:06-6441-9213 FAX:06-6441-9347

5.(開催:1/29)

「産官学連携の国際展開によるイノベーションの創出に向けて」のご案内
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2008/090129_1.htm
【京都大学】

これまでの京都大学における国際化の展開事業を含む産官学連携活動を報告するとともに、国内外の大学・企業から国際的な産官学連携活動の経験者を特別ゲストとし、その活動内容を講演予定ですので、ご案内いたします。

■日 時:平成21年1月29日(木)13:00~17:30
■場 所:芝蘭会館本館 稲盛ホール (情報交換会 山内ホール)
■参加費:無料(情報交換会 3,000円)
■定 員:230名(事前申し込み制)
■お申し込み方法・詳細はこちらをご覧ください。(申込締切り:1/15)
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2008/090129_1.htm
■お問合せ先:
京都大学研究推進部産官学連携課産官学連携グループ
TEL:075-753-5536 FAX:075-753-5538
WEB:<http://hawk2.kyoto-bauc.or.jp/sanrensympo/>

6.(開催:1/30)

『『国際的大学発ベンチャーシンポジウム』日本の大学発ベンチャーの
国際化ーベンチャーキャピタリストの視点から』のご案内
<http://ipw.naist.jp/sympo/venture/>
【文部科学省、奈良先端科学技術大学院大学】

本シンポジウムでは、グローブスパン・キャピタル・パートナーズ株式会社の代表取締役である金河豊次氏、米国三井ベンチャーズのパートナーであるリチャード・シー氏、及び主要国の大学発ベンチャー動向に詳しい株式会社大和総研の岡村部長からご講演を頂き、引き続きパネルディスカッション形式で意見交換を行なう予定です。

今後の国際的産学連携活動の一環である日本の大学発ベンチャーの国際化について、課題と対策を共有する絶好の機会ですので、ご案内いたします。

■日 時:平成21年1月30日(金)13:00~18:45
■場 所:ホテルグランヴィア京都 3階 源氏の間
■テーマ:「日本の大学発ベンチャーの国際化
ーベンチャーキャピタリストの視点から」
■参加費:無料 (情報交換会の参加費は5,000円となります)
■お申し込み方法・詳細はこちらをご覧ください。
<http://ipw.naist.jp/sympo/venture/>
■お問合せ先:
奈良先端科学技術大学院大学産官学連携推進本部
TEL:0743-72-5930 FAX:0743072-5015
E-mail:k-sangaku@ad.naist.jp

7.(開催:2/4)

「(地独)大阪市立工業研究所・大阪府立産業技術総合研究所
技術情報セミナー」のご案内

<http://www.omtri.city.osaka.jp/what/kousyu/20090204.html>
【(地独)大阪市立工業研究所、大阪府立産業技術総合研究所】

金属加工技術はものづくりにおける重要な基盤技術となっています。川上産業として部品製造を担う中小企業が、川下産業が求める様々な要求や製品ニーズに応えていくためには、これらの金属加工技術の更なる高度化が求め

られています。

今回のセミナーでは、製品の高付加価値化や製造技術の高度化に取り組んでいる中小企業を支援するため、地方独立行政法人大阪市立工業研究所及び大阪府立産業技術総合研究所が保有する金属加工技術関連の最新の技術シーズを紹介いたします。

- 日 時:平成21年2月4日(水) 13:30～17:30
- 場 所:(地独)大阪市立工業研究所 3階 大講堂
- 参加費:無料
- 定 員:100名
- お申し込み方法、詳細はこちらをご覧ください。
<http://www.omtri.city.osaka.jp/what/kousyu/20090204.html>
- お問合せ先:
(地独)大阪市立工業研究所 総務部 担当:木村
Tel:06-6963-8012 Fax:06-6963-8015
E-mail:mail@omtri.city.osaka.jp

8.(開催:2/5)

「地域発技術シーズ発表会」のご案内

<http://www.chiiki-innov.jp/seeds/osaka/>

【独立行政法人科学技術振興機構】

地域発技術シーズ発表会は、関西地元のものづくり企業の皆様に大学等の技術シーズをご活用いただけるよう、産・学・官が連携するマッチングの場です。発表後には、各発表者との面談コーナーも用意されています。

- 日 時:平成21年2月5日(木) 10:00～17:00
- 場 所:大阪科学技術センター 8F 中ホール・小ホール
- 参加費:無料(事前登録制)
- お申し込み方法、詳細はこちらをご覧ください。
<http://www.chiiki-innov.jp/seeds/osaka/>
- お問合せ先:
【内容に関するお問い合わせ先】
独立行政法人 科学技術振興機構
産学連携事業本部 地域事業推進部
TEL:03-5214-8419 FAX:03-5214-8487
【お申し込みに関するお問い合わせ先】
財団法人大阪科学技術センター 事務局
TEL:06-6443-5327 FAX:06-6443-5319

----- 【4】編集後記

今日メルマガを配信するとなれば、当然、バラク・オバマ氏の米国大統領就任に触れないわけにはいきません。ワシントンに出向いた人々だけでなく、今世界に住む64億人の人々がこの歴史的な瞬間に立ち会ったことになります。ほんのつい最近まで、米国では一滴でも黒人や有色人種の血の混ざった人が大統領になるとは、だれも実感しなかったことでしょう。現に目前でテレビに映し出されていることすら信じられない思いで見た人も多いことでしょう。それだけに、夕日に照らされてパレードを歩くオバマ大統領夫妻を見ながら、日米間ではじめてテレビがリアルタイムでつながった1963年11月22日の衝撃的なダラスのパレードの映像を思い出した人も少なくないでしょう。新大統領が無事に職務を全うしてくれることを切に願うのは編集子だけではないと思います。今、地球は人類の英知と互譲による「変革」ができないと、遠い先でなく子や孫の代での将来が危ないといわれているのですから、こちらはWe must do!でしょう。(稲)

特定非営利活動法人 青い銀杏の会 事務局
大阪府吹田市山田丘2-1 CASI D棟3F
<http://www.osaka-u.com/> TEL:06-6816-9327
